

7-9

ADL・QOL 向上

個別ケア

クラブ・PT・フロアの連携による個別ケアへの取り組み

ニーズの反映とリハビリの継続によるADLとQOLの向上

特別養護老人ホーム サンメール尚和

発表者：介護職員 山中 真理

所在地：東京都西東京市新町1-11-25

TEL：042-467-8888

E-mail：customer@sunmail.shisei-tokyo.or.jp

FAX：042-467-8937

URL：http://www.sunmail.shisei-tokyo.or.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

サンメール尚和は、昭和30年に開設した養護老人ホーム尚和園を昭和60年に閉園し、デイサービスセンターを併設して開設した施設です。開設当初から「認知症ケア」と「食生活を通じた生きがいの提供」に力を入れており、安全・安心・手作りが基本の旬の食材を使った食事はおいしいと評判です。

〈取り組んだ課題〉

- ◆個別機能訓練加算の開始に伴うフロアリハビリの実施
- ◆本人の状態と希望に沿った個別ケアの実施

〈具体的な取り組み〉

- ◆フロアリハビリの実施
 - ・PTと心身の状態の確認
 - ・個別機能訓練計画の作成
 - ・PTの訓練指導のもとフロア全体で統一したフロアリハビリの実施
- 内容①車椅子操作 5m自力走行
 - ②足かかと フットレストへ着地
 - ③ベッド上での起き上がり動作
- ◆個別ケアの実施
 - ・本人の心身状態・ニーズの把握
 - ・本人の希望に沿ったケア実施

〈活動の成果と評価〉

事例を通しての取り組み成果

- ◆入所前の状態像→現在の状態像
 - 寝たきり全介助→絵画クラブ参加・摂食自立
 - ◆本人のADLとQOLの向上
 - ・ADL面：車椅子操作や・食事・洗面など自力で行えることが増える
 - ⇕ 相乗効果
 - ・QOL面：
 - ①生活で自力で行えることが増え、以前よりさらに本人の自立心向上
 - ②以前よりコミュニケーションの能力もアップし、自身の意志・希望等を発することが出来るようになり、日常の活動が活発になる
 - ◆職員のリハビリへの取り組み意識や姿勢の変化
- 〈今後の課題〉
- ◆施設全体でのよりよいリハビリへの取り組み
 - ・個々の利用者の心身状況の把握
 - ・認知症利用者の希望の反映と取り組み

【メモ欄】